

令和6年度 コミュニティリーダー研修

持続可能な町内会・自治会を考えよう

地域の人材発掘の視点から

2025年1月25日



酒本 宏

全国1200以上の町内会・自治会の皆さんと意見交換

酒本 宏 (さけもと ひろし)

- 株式会社KITABA 代表取締役
- 技術士(都市及び地方計画部門・総合監理部門)
- 北海道大学工学部非常勤講師(コミュニティデザイン)
- 北海学園大学非常勤講師
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー
- 中小企業基盤機構 アドバイザー(商店街・中心市街地)
- 札幌市内の町内会の総務部長

- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営
- 2014年 札幌市、仙台市、函館市、千歳市、上富良野町、滝川市、
砂川市などで町内会活性化関連の講演などを多数
- 2020年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務(～継続中)
- 2021年 横浜市瀬谷区、埼玉県戸田市、北海道斜里町で講演
- 2022年 仙台市、栃木県宇都宮市、砂川市、余市町、斜里町などで講演・ワークショップ
- 2023年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務、久留米市、堺市、川崎市、仙台市、
石巻市、盛岡市、大阪市職員研修、函館市職員研修などで講演・ワークショップ



今日の話題提供

1. 地域コミュニティの現状
2. ニーズに対応した地域コミュニティの運営
3. 交流の機会とコミュニティの場づくり
4. 持続可能な地域コミュニティに向けて



1. 地域コミュニティの現状

(1) 地域コミュニティの課題は増えている

安心安全・環境美化・交流

高齢化対応

災害対応
防災活動

子育て支援

孤独
コミュニティの場

ヤング
ケアラー

多様性



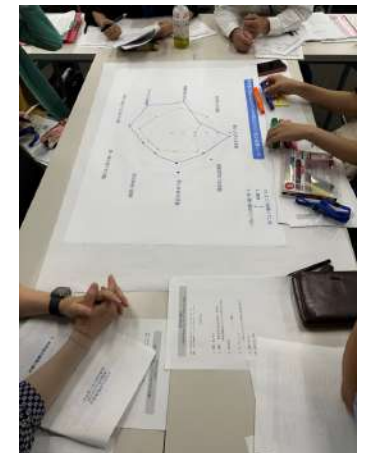
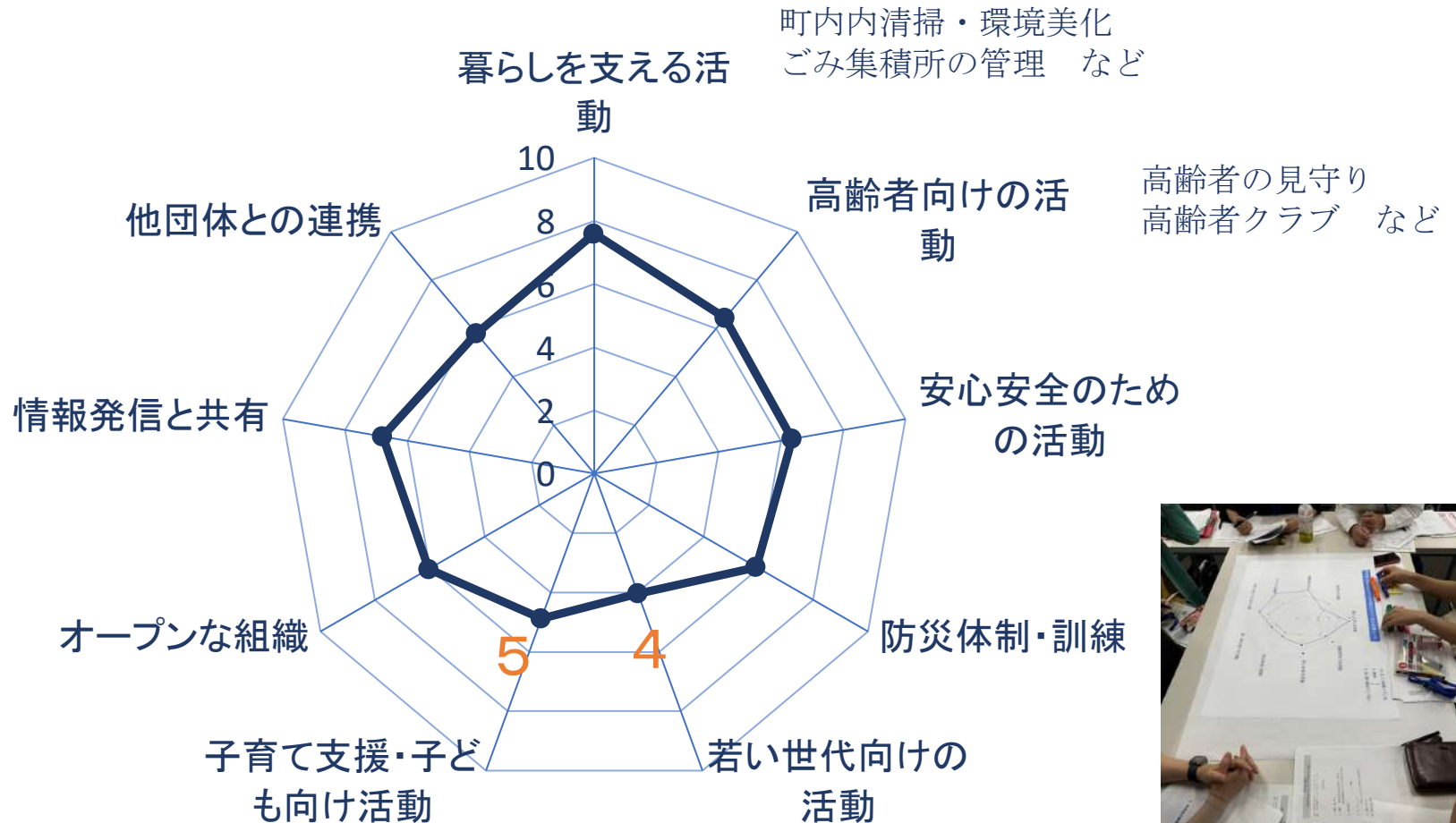
(2) 地域コミュニティを支える町内会が高齢化で担い手不足



加入率の低下

担い手不足

(3)町内会・自治会は高齢者向けの活動が多い



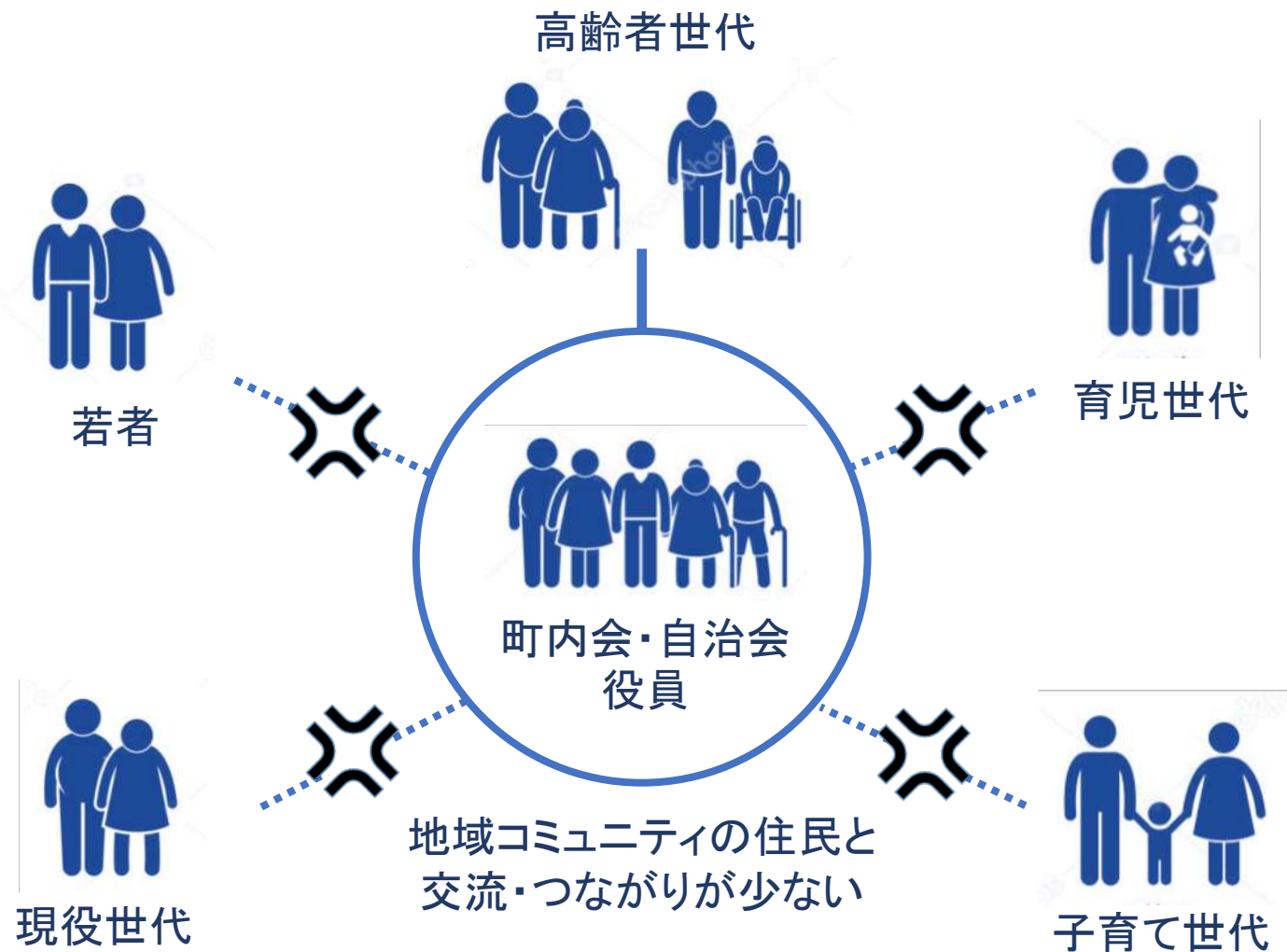
○高齢化社会のため高齢者中心の活動になっている町内会

- ・ 急激な高齢化により、役員の高齢化、そして高齢者向けの活動が中心になっている。

■ある町内会の年間行事

	主な活動	主な参加者
4月	町内会総会・懇親会	役員・班長
5月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
6月	お祭り	住民全体
7月	健康体操	高齢者
8月	カラオケ大会	高齢者
9月	防災訓練・秋祭り	住民全体
10月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
11月	カラオケ大会	高齢者
12月	クリスマス会・餅つき	子ども
1月	新年交流会	役員が中心
2月	健康体操	高齢者
3月	進学祝い金	子ども

(4) 町内会・自治会と住民のつながりが少なくなっている



2. ニーズに対応した地域コミュニティの運営

(1) 地域コミュニティへのニーズ

想定される住民	地域コミュニティに対するニーズ
単身世帯 若い世代	マルシェやフリーマーケット、キッチンカーなどが来るイベントがあると良い 数人で話ができるコミュニティの場があると良い Instagramなどで町内会の情報がわかると良い
育児世帯	育児のことを気軽に相談できる地域の方とつながりたい 子どもが小さいので歩いていいける範囲に交流の場があるとよい 交流の場にはコーディネーターがいてくれると参加しやすい 近所のベテランお母さんと知り合いになりたい
ファミリー世帯	子ども向けイベント(ハロウィン、クリスマス会など)をやって欲しい 子どもと高齢者がふれあう機会があるとよい 共稼ぎなので地域食堂などがあると良い
現役世帯	負担が少ない清掃活動や花壇の整備などには参加する
単身・2人の 高齢者世帯	近所の方が気にかけてくれると安心する 健康体操などがあれば参加したい
外国人世帯	町内会について教えて欲しい ゴミ出しのルールやそのほか地域コミュニティのルールを教えて欲しい 地域コミュニティの方々ともっと交流したい わかるように情報提供してほしい

(2) 地域コミュニティのニーズ把握

①カフェミーティング

- 子育て世代などを対象に少人数でカフェで気軽に話を聞いてみよう。
- テーマは、「暮らしやすいコミュニティ」など町内会のことを強調しないようにしながら話を聞く。



カフェミーティングは託児スペースと保育士さんにサポートしてもらうことで
参加しやすい会になる

ある町内会の事例(札幌市)

- ・カフェミーティングでは、子育て世代の視点で町内会活動について意見を出してもらった。
- ・若い世代が5名ほど参加し、町内会役員も交えた意見交換を行った。
- ・そのなかで、12月にクリスマス会を実施することになった。



- ・普段話さない若い世代とつながるきっかけになった。

町内会
カフェ
ミーティング

～みんなで考える地域コミュニティ～
まずはクリスマスイベントと一緒に考えませんか

カフェミーティングは
ひとがゆるやかにつながり
暮らしやすい・子育てしやすい・楽しい
地域コミュニティについて
お茶とお菓子を食しながら
気軽に話ませんか

参加無料
お茶とお菓子
あります

町内会が町内会活動でもより一歩前進を促したい

子どもがいない方が多い町内会

子育て世代が活躍の場を

日時 2024 11月2日(土) 10:30-12:00

場所

対象者 若い世代の方
子育て世代の方、
学生(高校生・大学生)

プログラム

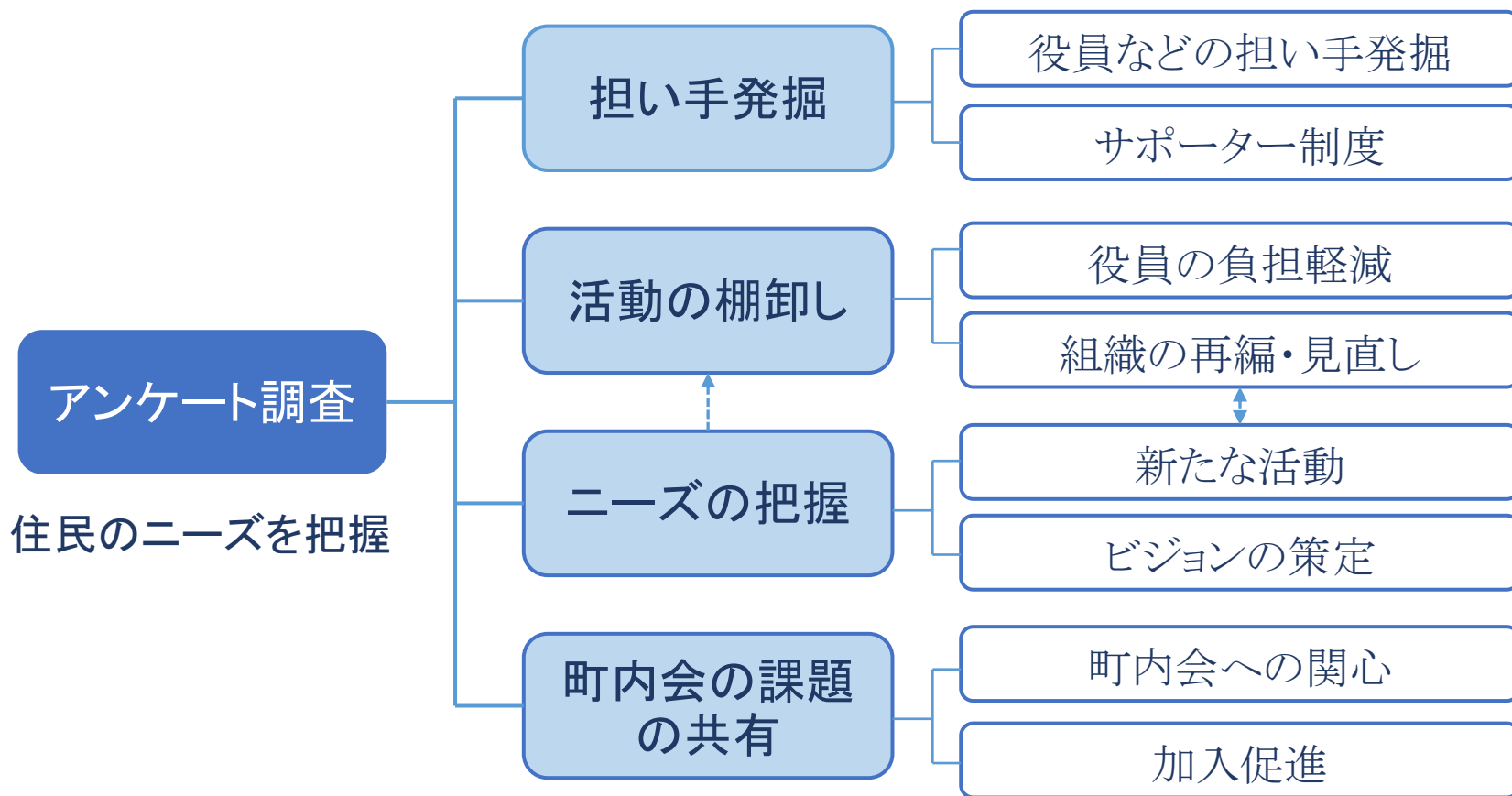
- 1 自己紹介
- 2 地域コミュニティへの意見
- 3 クリスマス会をやるとしたら
- 4 まとめ

「地域の方と交流できるといいかもしれない」
「地域コミュニティの楽しい企画をしてみたい」
自由に意見やアイデアを出してもらいながら、子育て世代や若い世代が考える地域コミュニティを描いてみましょう

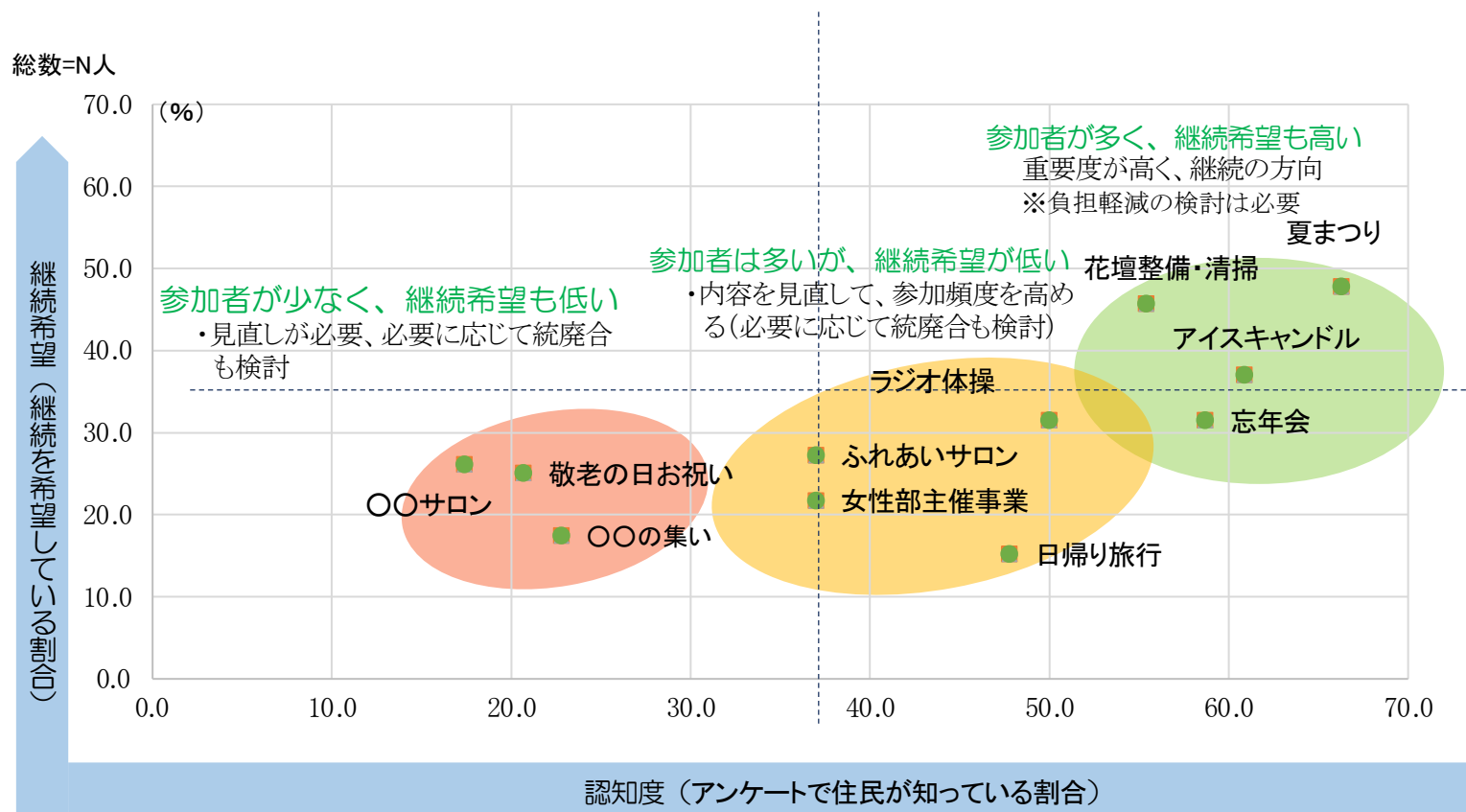
お申込み
お問い合わせ

②アンケートの実施支援

- アンケートで町内会の活性化を進めることを示すことが、オープンな町内会への第一歩です。



- アンケートの結果に基づいて活動の棚卸しを行います。
- アンケートに基づいて活動を行うことが必要です。



(3) ニーズに基づいた活動

① 堺市錦綾(きんりょう)校区自治連合会

- 連合会の役員は、高齢者と若い世代が半数程度です。
- 連合会の会長は、高齢者世代と若い世代のつなぎ役も行なっています。
- つつじの花見の会のマグロの解体ショーやハロウィンイベント、月見の会、eスポーツもあるスポーツカーニバルなど若い世代の意見を取り入れながら活動を行なっています。



つつじの花見会のマグロの解体ショー





ハロウィンイベントを実施。多くの人が参加しています



地域の方々がアイデアを出し合い、綱引きやグラウンドゴルフ、ヨガ、eスポーツなど老若男女問わず参加できる競技が行われました

②札幌市宮の森中央町内会

- 宮の森中央町内会では、若手の意見を取り入れ、秋祭りをオータムフェスタにリニューアルしました。
- 町内会による焼き鳥などの提供に変えて、キッチンカーを誘致しました。
- 地域の子どもたちのブラスバンドの演奏などを行いました。
- これまで参加していなかった若い世代が足を運んでくれて、これまで以上に賑わいがありました。
- 賃貸住宅に住む若い世代の町内会を知ってもらうきっかけとなっています。



③北海道清里町まちなかLAB

- 清里町の若い世代がにぎわいづくりのために企画を検討した。
- 清里町コミュニティーセンターコミット及び旧ガソリンスタンド で実施した。
- カフェ巡り、地域食堂、フリーマーケット、キッズイベント(ボードゲーム、テレビゲーム)などが実施された。





キッドパス(クレヨン)



ボードゲームコーナ



テレビゲームコーナ



キッズスペース

(4) アンケートによる人材発掘

- 役員や行事の手伝いなど、どのように町内会活動に参加できるかを確認することが重要です。

サポーターの顔合わせ会の実施など

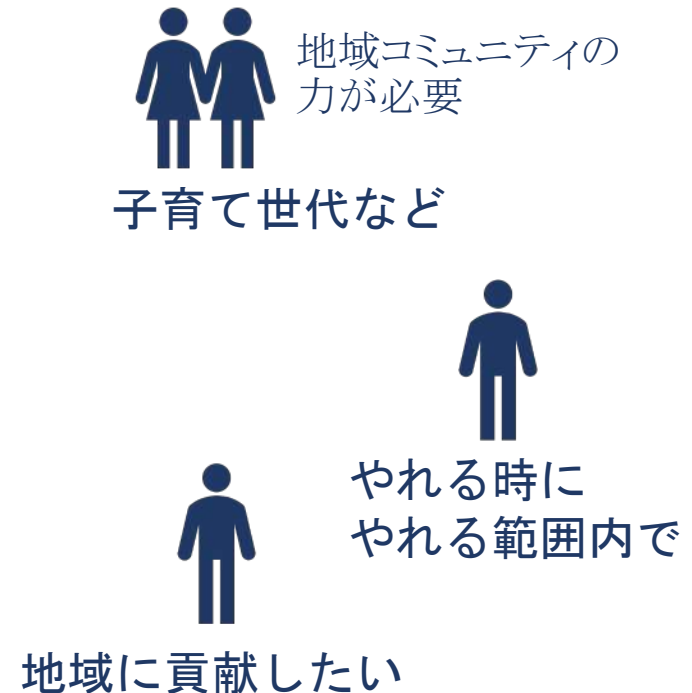
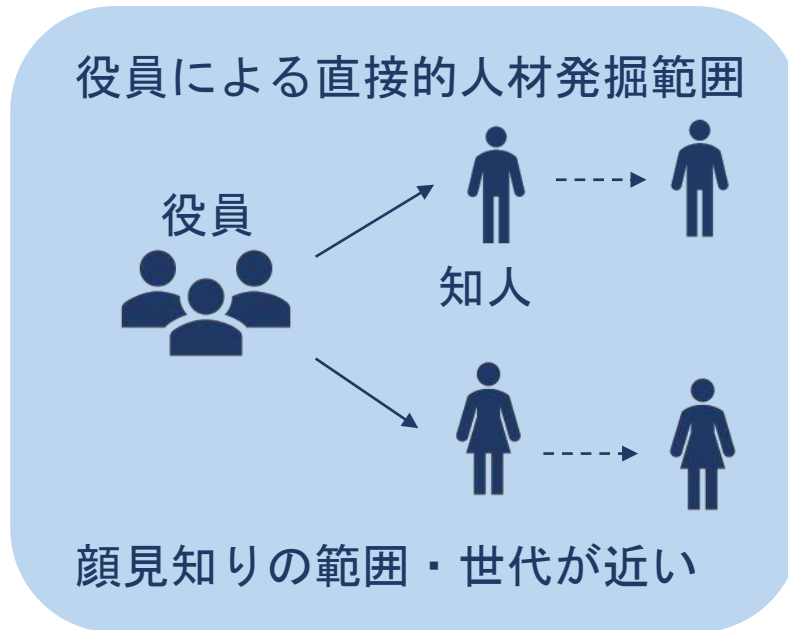
- アンケートで名前を書いていただいた方に直接アプローチ
- 顔合わせ会を実施し、実際にどのように町内会運営に取り組めそうかを話し合った。
- サポーターは顔合わせ時にLINEなど連絡を取りやすい手段でつながることが大切である。



アンケートで広く人材の発掘

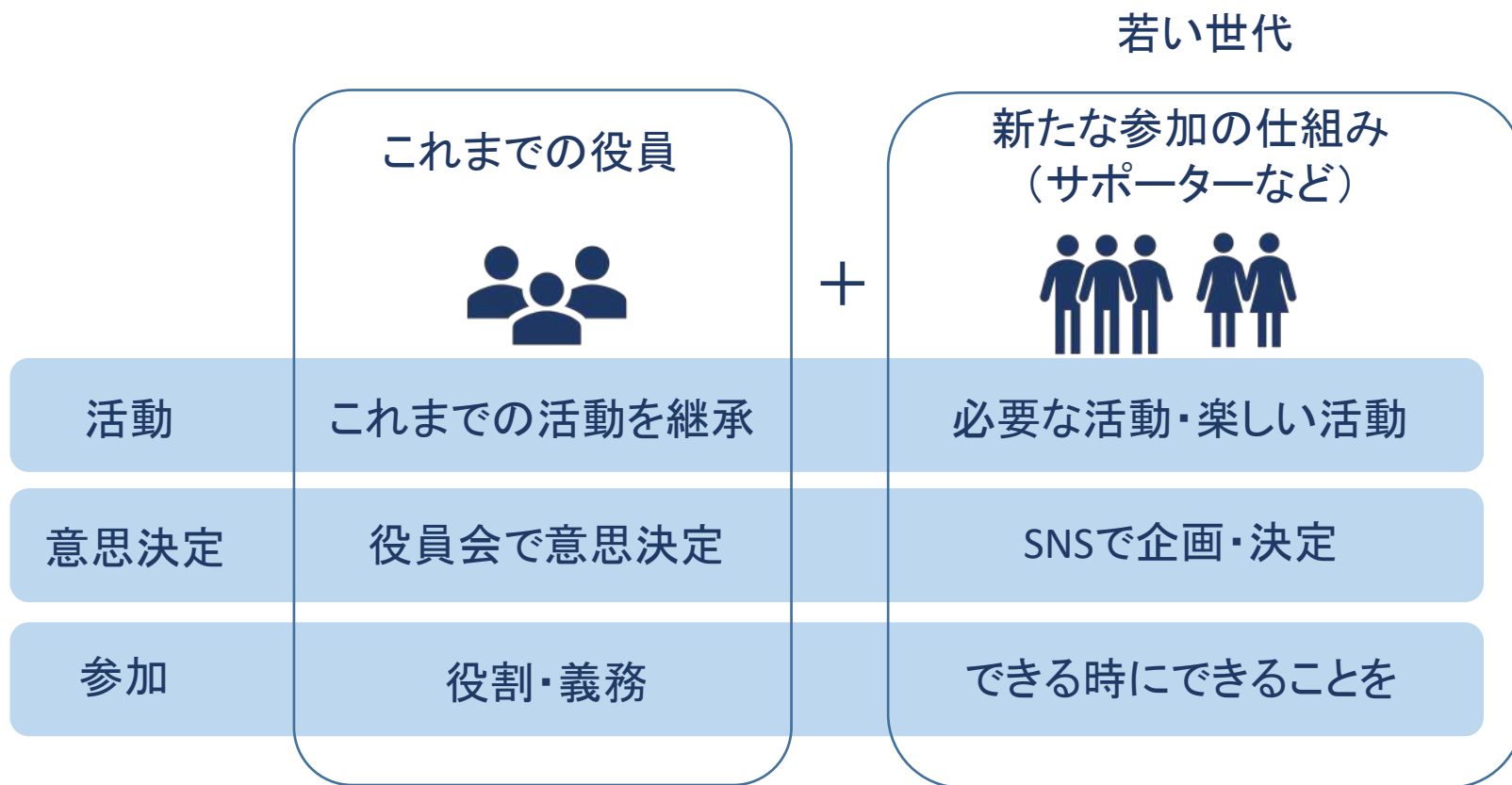
- 町内会の役員は、顔見知りからが多く、その範囲や世代は限られています。
- アンケートで広く人材を発掘することが大切です。

アンケートでの人材発掘範囲



○柔軟な参加の仕組みをつくる

- 若い世代が参加しやすい仕組みをつくる必要があります。



アンケートから再生した町内会（札幌市富丘東四町内会）



担い手不足で
町内会の解散を役員会で決定



解散の前にアドバイザーに相談



住民にアンケート
解散を支持したのは1割
若い世代の発掘



発掘した若い世代との意見交換
新たな活動のアイデア

アンケートに基づく組織の見直し
日帰り旅行、新年交流会などを廃止
部の統廃合によって組織を縮小
サポーター制度（できるときにできることを）

サポーターの
企画運営によるイベント
ハロウィン・クリスマス会



サポーターの増加

サポーターが企画・開催したクリスマス会



3. 交流の機会とコミュニティの場づくり

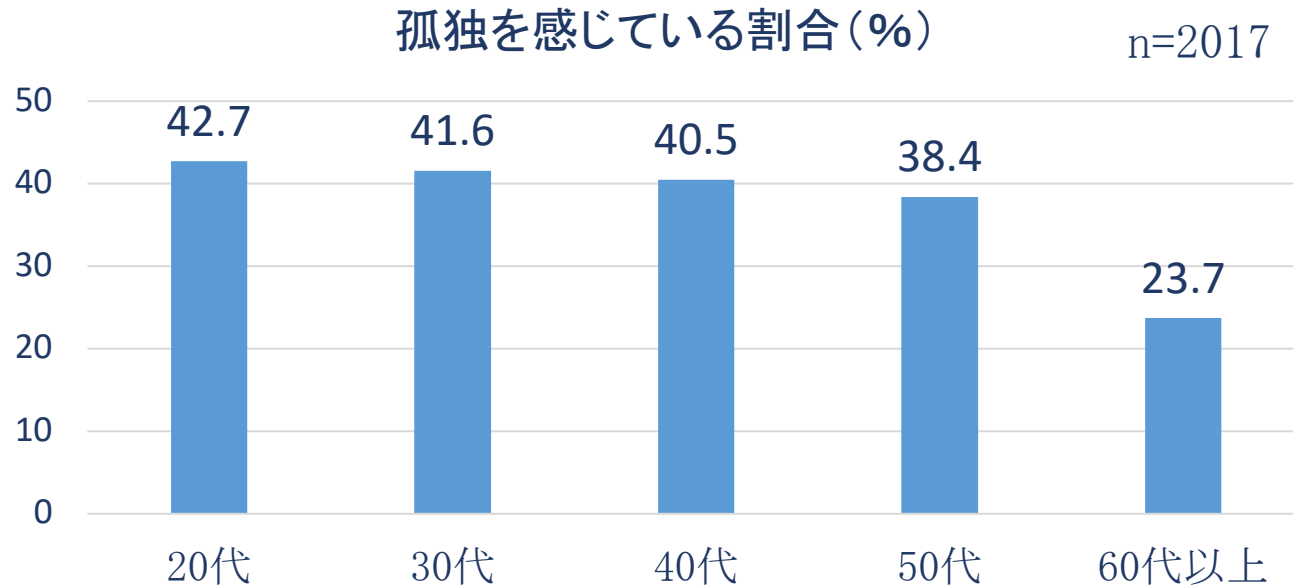
(1) コミュニティの場で多世代交流

- 多様で開かれた居場所、つながりがあるコミュニティにすることが多世代が参加する町会に向けて大切です。
- 町会館や集会施設を活用してコミュニティの場づくりを進めましょう。



(2) 若い世代はコミュニティの場を求めている

- 「特定非営利活動法人あなたのいばしょ」と「国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)」が2022年2月に実施した「コロナ下での人々の孤独に関する調査」では、孤独を感じている割合が最も高いのは20代で42.7%、最も低いのは60代以上で23.7%となっています。



(3) 気軽に立ち寄れるコミュニティの場づくりが重要

- 地域の人が日常的の気軽に立ち寄れるコミュニティの場が重要です。

○コミュニティの場の要件

- 気軽に行ける
- 適度な会話がある
- 徒歩圏内
- 新規の人も行きやすい
- まちにあった景観(デザイン)
- 明るい雰囲気を持っている
- 家のリビングのような場所



○町内会館で居酒屋～多世代交流と助け合いを育む（札幌市豊平区）

- 役員の担い手不足や町内会行事に対する参加者の固定化が課題だった。
- 近隣に大学があるため、学生や若者が多かったことなどから、世代間交流事業として、町内会館での居酒屋がスタート。
- 大学生なども手伝いに来てくれ、町内会に関わるきっかけになった。
- 年に6回、奇数月の第3土曜日に開催している。
- 子どもを連れて参加できることもあり、少ない時でも60人、コロナ後は100人程度が参加している。
- 賃貸住宅やマンションの居住者も数多く参加しており、そこから町内会活動をサポートしてくれるメンバーも増えている。
- 町内会の役員と女性部が中心となって運営している。



○大阪府 堺市茶山台団地集会施設の利活用



○デンマークでもコミュニティ・キッチン

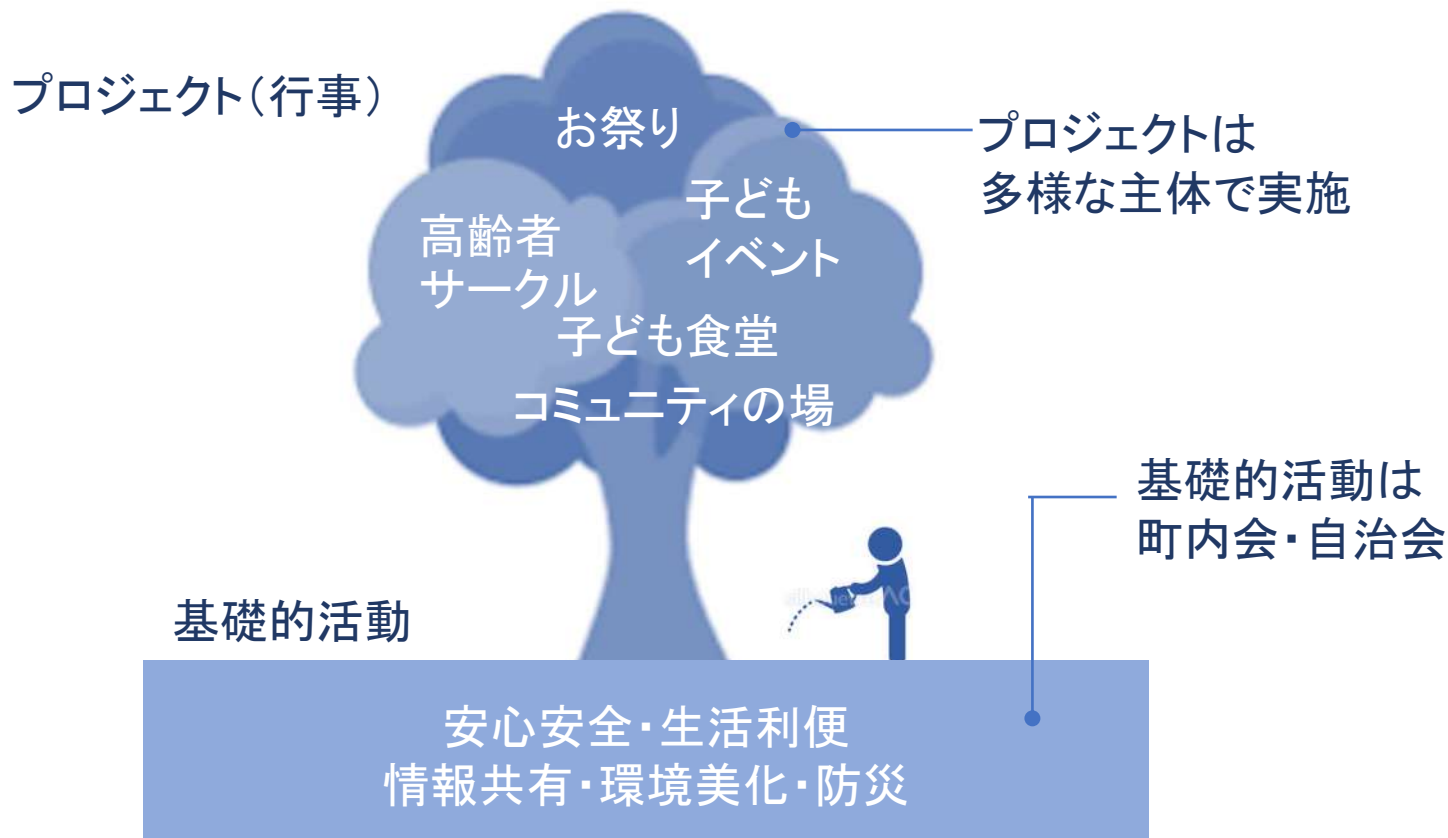
- デンマークの首都コペンハーゲンでは、2018年頃から、人々が集まって食事をするのが大きなトレンドになっている。
- ボランティアで運営されているデンマークのコミュニティ・キッチン「One Bowl」。
- 毎週日曜日の17～21時にオープン。
- 食事を寄付制で提供している。
- 運営はすべてボランティアで行っている。
- 寄付で集まったお金はOne Bowlの運営や、食料不安を抱える人たちのために使われる。
- 毎週日曜日に寄付制で食事を提供しており、経済的・社会的状況にかかわらずさまざまな人が集まり、一緒に食事をするようになってきている。



4. 持続可能な地域コミュニティに向けて

(1) 地域コミュニティは基礎的活動とプロジェクトできている

- 地域コミュニティの活動は、安心安全や生活利便、情報共有、環境美化、交流などの基礎的活動と、行事(プロジェクト)から成り立っています。



(2) 多様な主体によるコミュニティの活動(プロジェクト)

○子ども食堂・地域食堂

- 地域コミュニティの教会や福祉団体と連携して、「子ども食堂」や「地域食堂」を開催しています。

こども食堂せいなん(盛岡みなみ教会)



<https://www.city.morioka.iwate.jp/>

○地域の女性がコミュニティの場づくり(岩手県花巻市)

- コミュニティカフェ「こっぽら土澤」では、地域の女性が日替わりシェフをやり、カフェを運営しています。
- カフェでは、高齢者の食事も提供しています。



ワンディシェフの大食堂

ワンディシェフ大食堂は、毎月1回、地域の女性が日替わりシェフをやり、カフェを運営しています。

日	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月上旬の予定

岩手県花巻市 コミュニティカフェ「こっぽら土澤」

○生活サービスをNPOを組織して支える

- 北海道芽室町上美生地区では、地域住民の生活を支えていたAコープが閉店。
- 地域住民が「NPO法人上美生」を組織し、店舗跡で飲食料品などの販売業を始める。



みんなのお店KAMIBI(芽室町 上美生地区)

(3) 町内会・自治会は調整役(コーディネーター)

横浜市港南区美晴台自治会

- 自治会自体は、担い手不足になっているものの、様々な団体や組織があり活動を行なっています。
- 特に子ども向けの活動が盛んにおこなわれており、子育てに良いまちという噂が広がっています。
- 自治会は、その活動の調整を行なっています。



道に名前をつけるワークショップ

<https://www.townnews.co.jp/0112/2016/11/03/355643.html>



ハロウィンイベント

<https://miharudai.exblog.jp/24853481/>

横浜市港南区美晴台地区

子育てにより
住みやすい

空き家が出ると
子育て世代が
移り住む

ボランティアで
子どもの
イベント

住宅地として
価値が高い

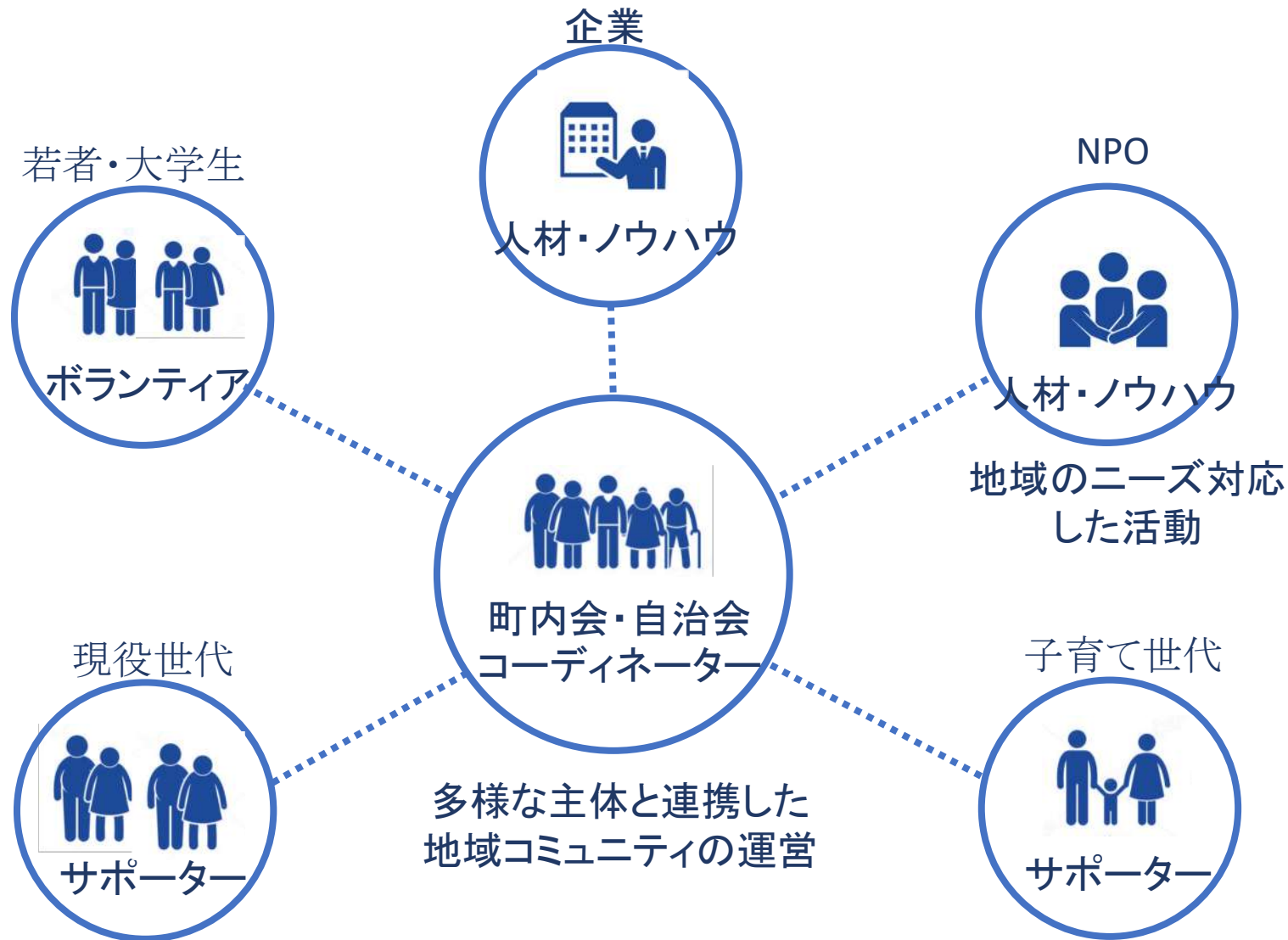


50年以上経過する住宅地
約700世帯

ハロウィン
道の名前をつける
ワークショップ など

自治会は担い手不足

(4) 持続可能な地域コミュニティ



ご清聴ありがとうございました

